

**市民ワークショップ
～あさかの未来を話そう～**

結果報告書（速報版）

令和6年（2024年）2月

朝霞市

目次

1. 市民ワークショップの概要	1
1-1. 実施の目的	1
1-2. ワークショップ参加者	1
1-3. 開催日時と場所	1
2. ワークショップの経過	2
2-1. 当日の流れ	2
2-2. 各グループの議論・意見	3
★グループ1	3
★グループ2	6
★グループ3	9
★グループ4	12
★グループ5	15
★グループ6	18
★グループ7	21
★グループ9	24
★グループ10.....	27
2-3. 当日の様子	30
3. 総括	31
4. 資料	32

※グループ編成の都合上、グループ8は欠番である。

1. 市民ワークショップの概要

1-1. 実施の目的

第6次朝霞市総合計画の策定に当たり、朝霞市のよいと思うところや改善が必要と思うところ、未来の朝霞市がどんなまちであったらよいかなど、まちづくりに関する市民の意向や朝霞市の将来像について、市民と意見交換を行い、計画策定に生かすために実施した。

1-2. ワークショップ参加者

朝霞市在住・在学・在勤等、市に関心のある方28人
朝霞市職員16人(テーブルの進行役として参加)

1-3. 開催日時と場所

【開催日時】

1月20日(土) 13:30~17:00

【開催場所】

朝霞市民会館(ゆめぱれす) 新館2階 高砂の間

2. ワークショップの経過

2-1. 当日の流れ

1グループ5人程度の9グループに分かれ、グループごとに、現在の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところを出し合い、その後、朝霞市の将来像を話し合った。

時間	内容	備考
13:00	開場	
13:30-13:35	開会・あいさつ	ワークショップの趣旨説明
13:35-13:55	オリエンテーション	・総合計画の概要説明 ・ワークショップの進め方の説明
13:55-14:45	グループワーク① 今の朝霞市のよいと思うところ ・改善が必要と思うところ	普段の生活で感じている朝霞市のよいところ(特徴、資源、自慢、誇り)、改善が必要なところ(よくなってほしいところ、足りないところ)を出し合う。
14:45-15:00	休憩	他のテーブルの話し合いを確認
15:00-16:00	グループワーク② 未来の朝霞市はどんなまち?	まち(市街地、緑・公園、交通、防災・防犯)、ひと(子ども、教育・学習、健康、支え合い)、にぎわい(産業、文化、買い物、働く場)の視点を参考に、10年後の朝霞市がどのようなまちになっていたらよいかを話し合う。
16:00-16:25	グループ発表	各グループから発表
16:25-16:30	今後の取組について	分野別市民懇談会の告知等
16:30	他のテーブルの話し合いを見よう(自由解散)	

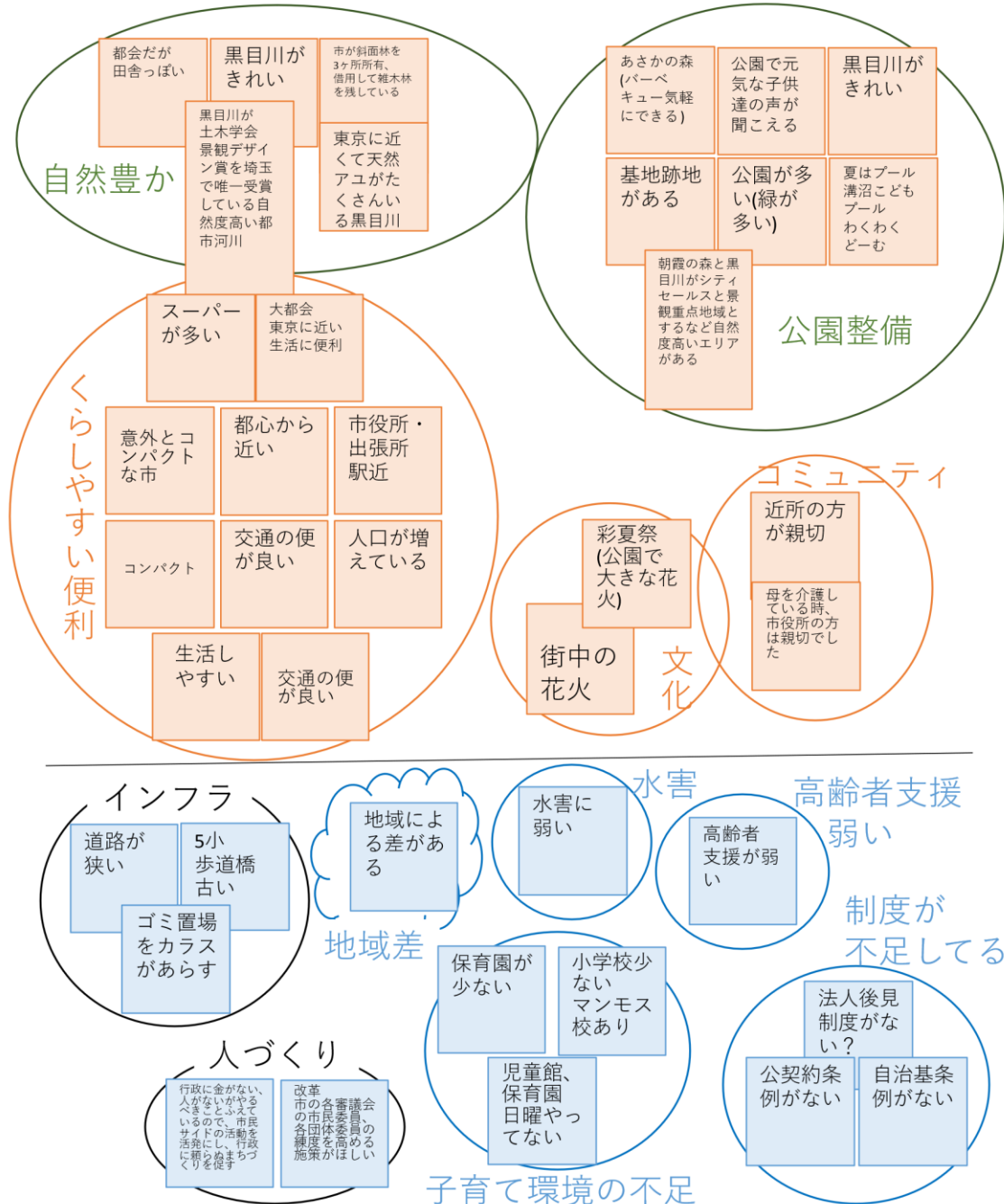
2-2. 各グループの議論・意見

★グループ1

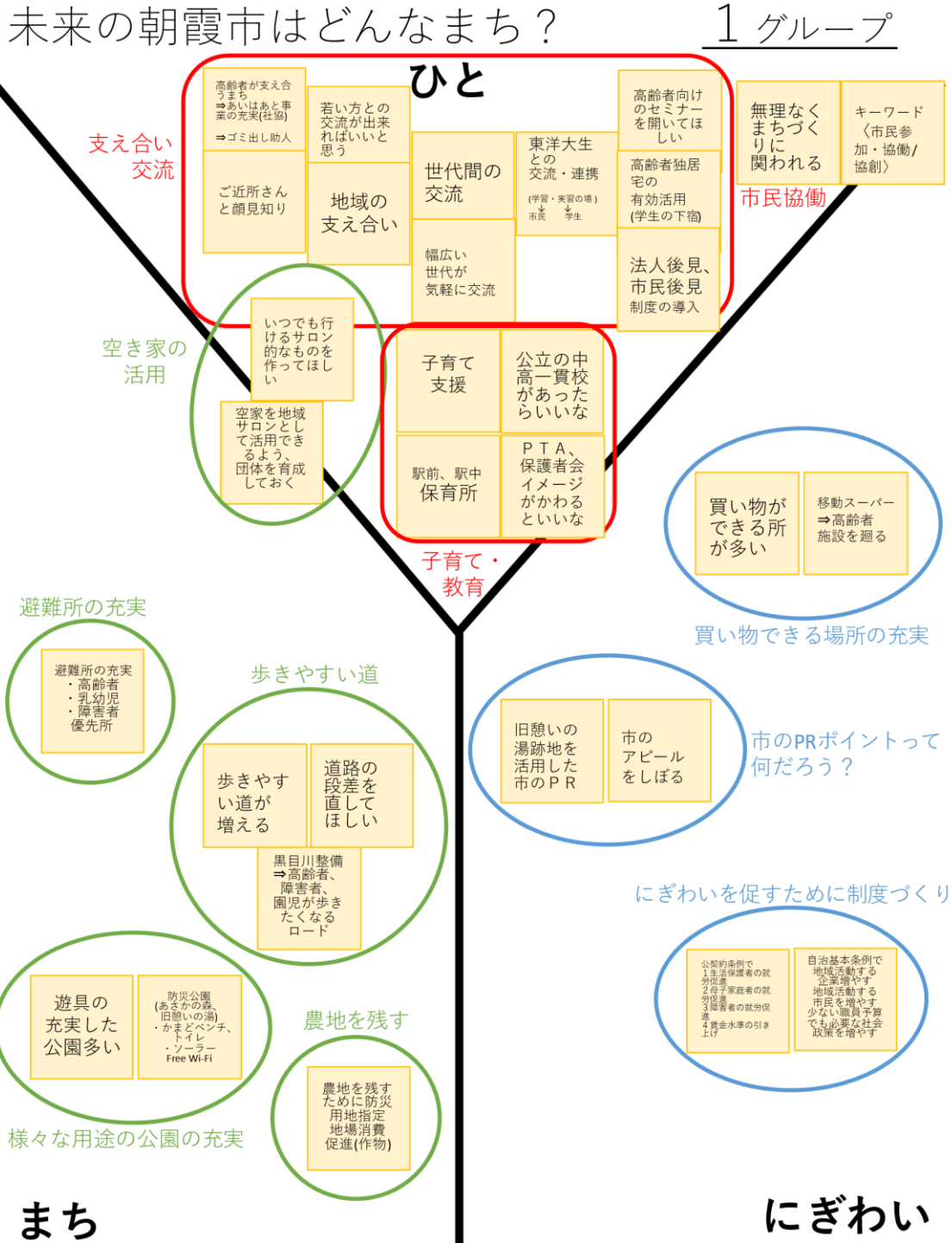
【1-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ 改善が必要と思うところ

1 グループ



【1-2】未来の朝霞市はどんなまち？



【1-3】話し合いの要点

(1)今の朝霞市のよいと思うところ

- ①自然が豊か:天然アユもいて、自然度が高い綺麗な黒目川(土木学会景観デザイン賞受賞)がある。市が所有・借用している雑木林がある。都会だが田舎っぽい。
- ②公園整備:公園が多い。溝沼こどもプールやわくわくどーむがある。朝霞の森でバーベキューができる。朝霞の森と黒目川が景観づくり重点地区で自然度が高い。
- ③くらしやすい便利:都心から近くで交通の便が良い。市役所・出張所が駅から近い。スーパーが多い。コンパクトな市。生活しやすい。
- ④文化・コミュニティ:彩夏祭で街中での大きな花火。近所の人や市役所の人が親切。

(2)今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①子育て環境の不足:保育園や小学校が少ない。児童館や保育園が日曜日に休み。
- ②制度が不足している:法人後見制度がない。自治基本条例や公契約条例がない。
- ③インフラ:道路が古い。5小の歩道橋が古い。ごみ置き場をカラスが荒らす。
- ④人づくり:行政に人もお金もないのにやるべきことが増えているので、市民の活動を活発にし、行政に頼らない町づくりを促す必要がある。市の各審議会の市民委員や、各団体委員の練度を高める施策がない。
- ⑤その他:高齢者支援が弱い。水害に弱い。地域による差がある。

(3)未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・世代間交流や近所づきあいなど市民がふれあい、地域の支え合い・交流があるまち。
- ・空き家を地域サロンとして活用できるよう団体を育成しておく。
- ・「市民参加・協働/協創」をキーワードに市民が無理なくまちづくりに関われるまち。
- ・公立の中高一貫校や、駅前・駅中に保育所をつくる等、子育て支援の充実したまち。

【まちに関するもの】

- ・黒目川の整備や道路の段差を減らす等、歩きやすい道が増える。
- ・農地を残すために、防災用地指定、地場消費の促進。
- ・避難所の充実(高齢者、乳幼児、障害者の優先所等)。
- ・遊具が充実した公園や防災公園など、多様な用途の公園が充実しているまち。

【にぎわいに関するもの】

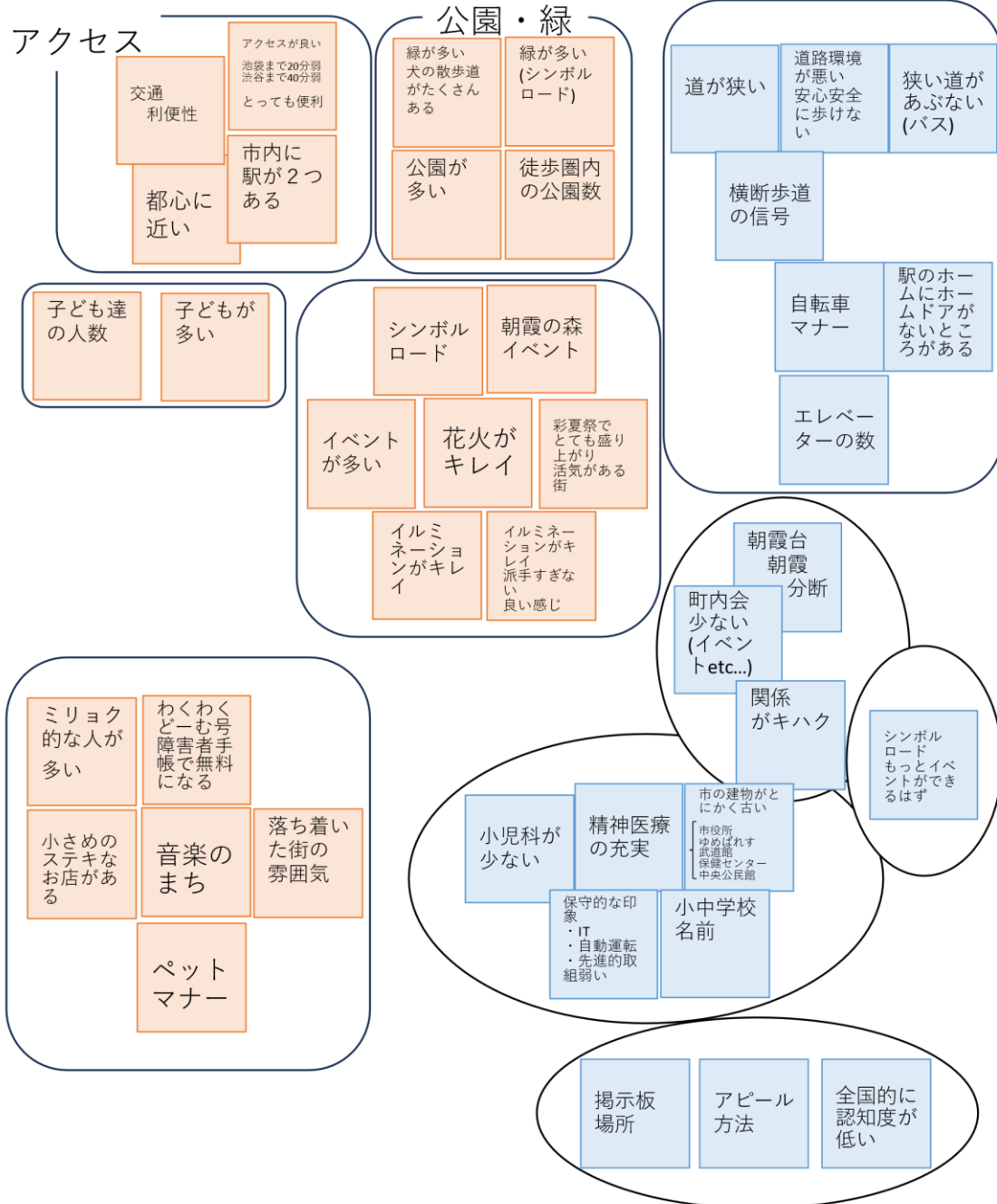
- ・移動スーパーも含め、買い物できる場所の充実。
- ・旧憩いの湯跡地の活用など、市のPRポイントを絞り、魅力の発信・周知。
- ・公契約条例を活用した障害者、母子家庭者、生活保護者等の就労促進。
- ・自治基本条例で地域活動する企業や市民を増やし、少ない職員や予算でも必要な社会政策を増やすことのできるまち。

★グループ2

【2-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

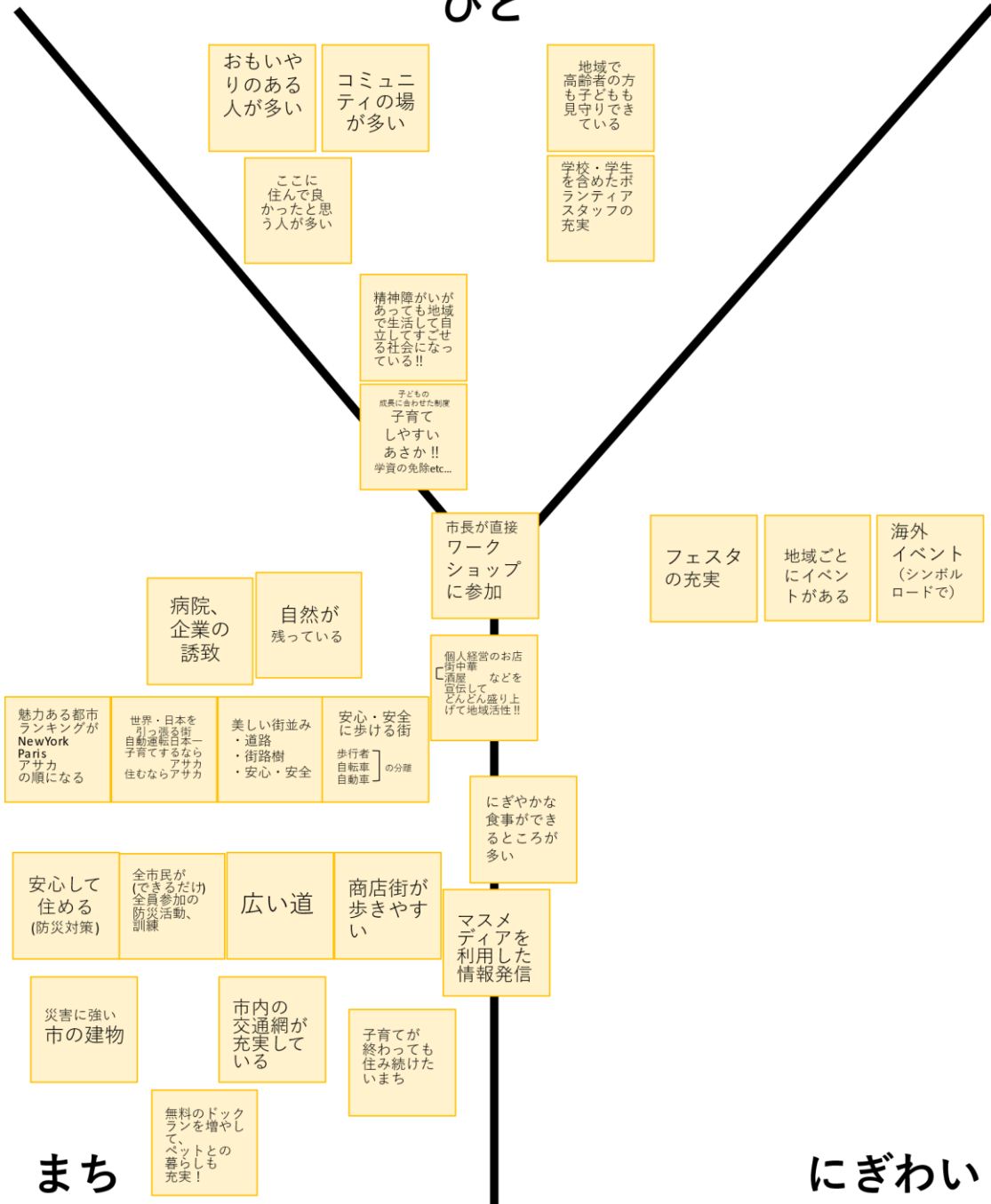
2 グループ



【2-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？
ひと

2 グループ



【2-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ① アクセス: 市内に駅が2つあり、都心に近く、交通の便が良い。
- ② 公園・緑: 公園や緑が多く、犬の散歩道がたくさんある。シンボルロードがある。
- ③ 文化・コミュニティ: イベントが多い。イルミネーションが綺麗。彩夏祭が盛り上がる。花火が綺麗。音楽のまち。小さめの素敵なお店がある。ペットマナーが良い。
- ④ 人: 子どもが多い。魅力的な人が多い。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ① 交通: 道が狭いなど道路環境が悪く安心安全に歩けない。駅にホームドアがない。自転車マナーが悪い。横断歩道に信号がないところがある。
- ② インフラ: 朝霞と朝霞台が分断されている。市の建物が老朽化している。
- ③ コミュニティ: 町内会のイベント等が少ない。地域の関係性が希薄。シンボルロードでのイベントが少ない。保守的な印象がある（IT、自動運転、先進的取組等）。
- ④ 医療: 精神医療が充実していない。小児科が少ない。
- ⑤ 市のPR: 全国的に認知度が低い。アピール方法を検討する必要がある。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・コミュニティの場が多く、地域が子どもも高齢者も見守り、子育てしやすいまち。
- ・学校・学生を含めたボランティアスタッフが充実している。
- ・精神障害があっても地域で自立して生活できるまち。
- ・市長が直接ワークショップに参加する。

【まちに関するもの】

- ・市内の交通網が充実し、道が広く、街路樹があり、安心安全に歩ける美しい街並み。
- ・全市民が参加する防災活動の実施や、市の建物を災害に強いものにし、防災対策の取られた安心して住めるまち。
- ・子育てが終わっても住み続けたいまち。
- ・自然が残っている。
- ・マスメディアを利用した情報発信を行う。魅力ある都市ランキングをあげ、世界・日本を引っ張るまち。病院や企業の誘致。
- ・無料のドッグランを増やして、ペットとの暮らしも充実。

【にぎわいに関するもの】

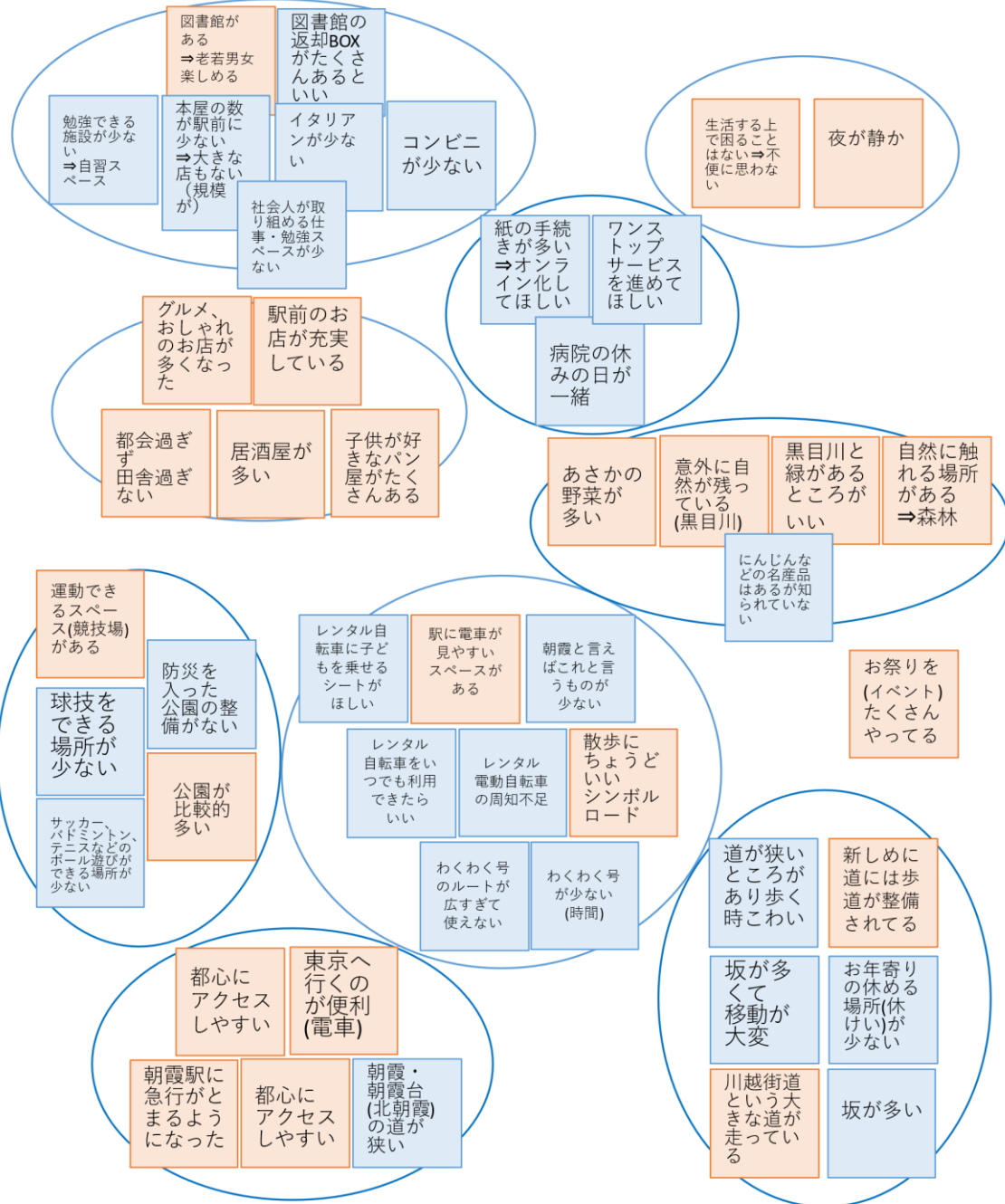
- ・外国人主催の海外イベントをシンボルロードで開催する。
- ・地域ごとにイベントがあるなど、フェスタの充実したまち。
- ・個人経営の飲食店を宣伝し、地域活性化し、賑やかに食事のできる場所が多い。

★グループ3

【3-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

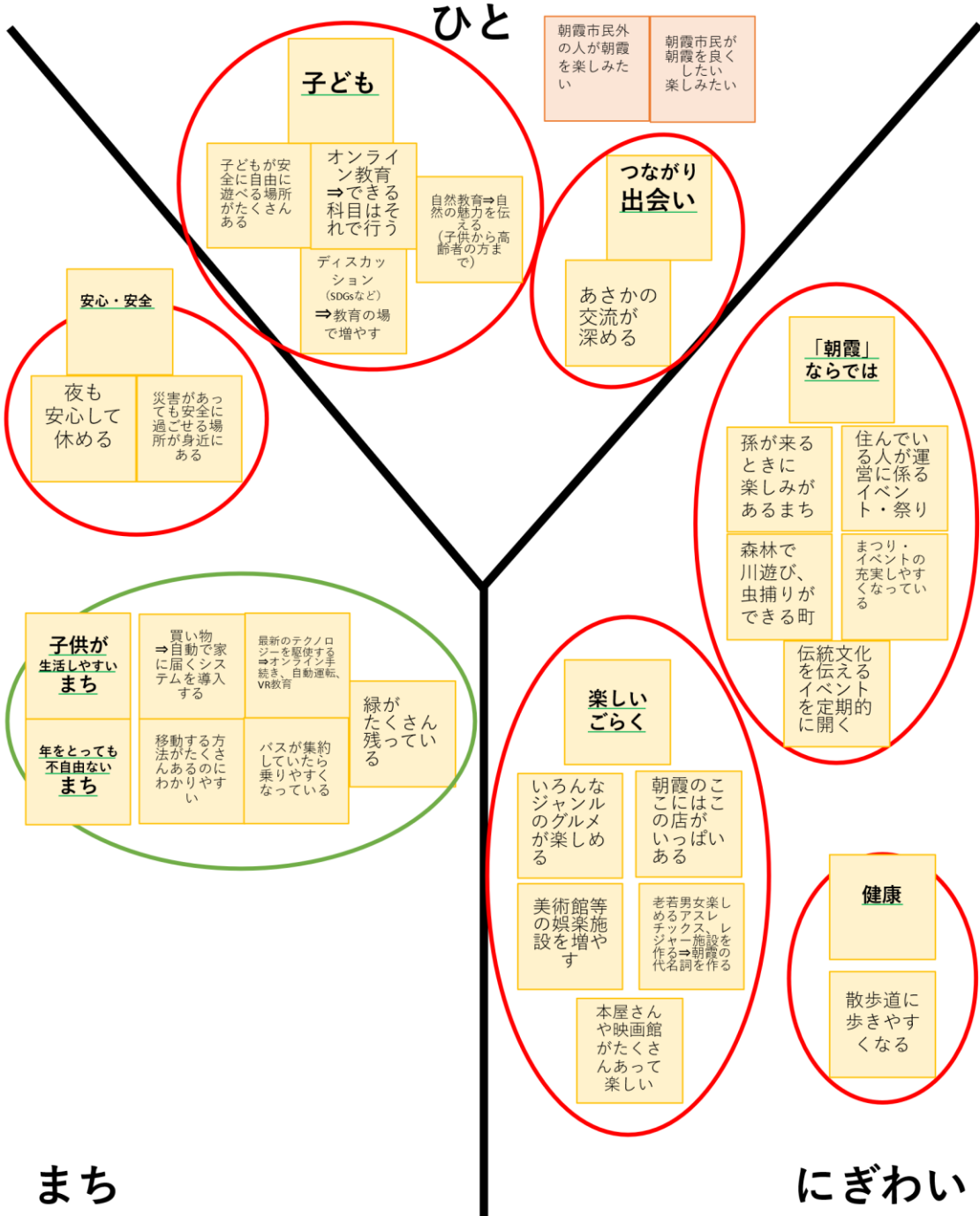
3 グループ



【3-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？

3 グループ



【3-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ① アクセス・道路: 都心へのアクセスが良い。朝霞に急行が止まる。新しい道には、歩道が整備されている。川越街道が走っている。
- ② 公園・自然: 公園が多い。黒目川や森など自然が残っている。運動できるスペースがある。シンボルロードが散歩に良い。
- ③ 店舗の充実: 駅前のお店が充実している。グルメ・おしゃれなお店が多い、居酒屋が多い、子どもが好きなパン屋が多い。
- ④ 文化: お祭り等イベントが多い。
- ⑤ 生活: 生活する上で困ることはない。都会過ぎず田舎過ぎず。夜が静か。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ① 交通・移動: 道が狭く歩くのが怖い。坂が多く移動が困難。わくわく号の本数が少なく、ルートが広くて使いにくい。お年寄りの休める場所が少ない。レンタル自転車が利用できないことがある。レンタル電動自転車の周知不足。レンタル自転車に子どもを乗せるシートがほしい。
- ② 施設・病院: 勉強や仕事ができるスペースが少ない。病院の休みの日が同じ。
- ③ 公園: 公園が防災公園として整備されていない。球技ができる場所が少ない。
- ④ 行政手続き: 紙の手続きが多い。ワンストップサービスになっていない。
- ⑤ 市のPR: 朝霞と言えばこれというものが少ない。名産品のにんじんも知られていない。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・朝霞市民が朝霞を楽しみ良くし、朝霞市民以外の人も朝霞を楽しめるまち。
- ・人との出会いやつながりを増やし、交流を深めることができるまち。
- ・子どもが安全に自由に遊べる場所がたくさんある。自然の魅力を伝える教育や、オンライン教育、ディスカッションなど、子どもへの教育を充実させる。

【まちに関するもの】

- ・夜も安心して休め、災害があっても安全に過ごせる場所が身近にあるまち。
- ・子どもが生活しやすく、年をとっても不自由のないまち（緑が多く残っている、買い物したものが自宅に届くシステムの導入、オンライン手続き等最新のテクノロジーの駆使、移動手段のわかりやすさ、集約されたバス等）

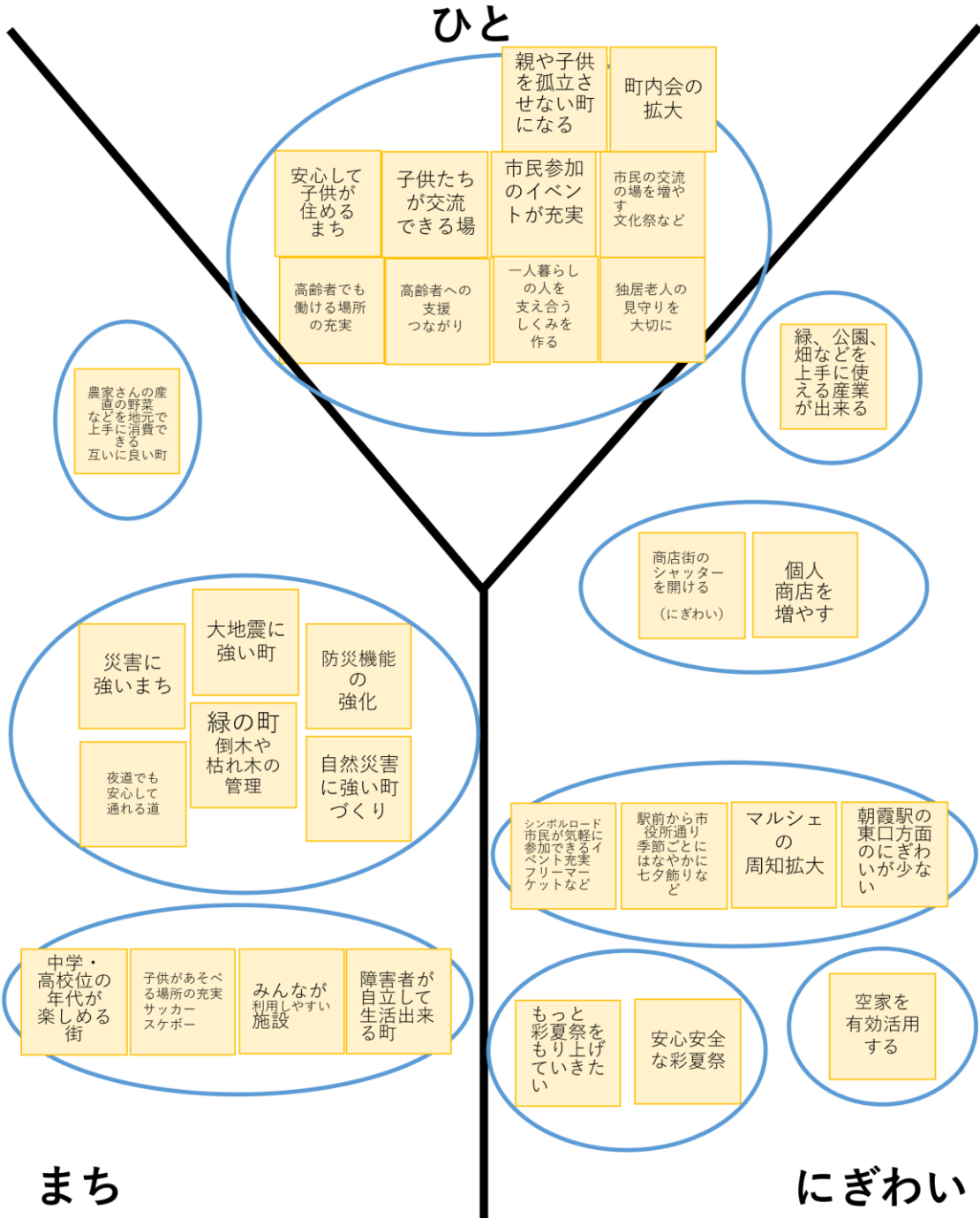
【にぎわいに関するもの】

- ・川遊びや森林で虫取りができるまち。孫が来た時に楽しめるまち。
- ・市民が運営に携わる等、祭りやイベントの充実。伝統文化を伝えるイベントの開催。
- ・娯楽のたくさんあるまち（いろんなジャンルのグルメ、老若男女が楽しめるアスレチック・レジャー施設、美術館、本屋、映画館）

【4-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？

4 グループ



【4-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①公園・自然:黒目川や緑、大きな公園がある。まちが適度に静かでゆったりしている。
- ②アクセス・駅前:交通の便が良い。東上線の急行が止まる。朝霞駅前が充実している。
- ③文化:彩夏祭をはじめとしたイベントが定期的にある。
- ④人:転入超過の状態である。若い世代が増えた。人が優しい。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①街並み:駅周辺以外は道路が狭いし暗い。防犯カメラがない。歩道が狭い・ない。駅前から市役所への通りが寂しい。市役所周辺のみが整備されている。倒木や枯れ木が目立つ。
- ②施設・公園:小中学校や施設の老朽化。子どもが自由に遊べる公園が少ない。
- ③移動:バスの本数が減少している。タクシーが夜になると少ない。
- ④交流:世代間交流が少ない。男性高齢者との関りが少ない。
- ⑤イベント:イベントの出展料が高い。市民が参加しやすいフリーマーケットがない。
- ⑥医療・福祉:小児科が少ない。精神障害者に対するの社会保障が不足している。
- ⑦情報提供:市のホームページがわかりづらい。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・市民参加のイベントが充実して、市民の交流の場が増える。
- ・親や子どもを孤立させず、安心して子どもが住め、交流できる場のあるまち。
- ・特に一人暮らしの高齢者を見守り、支え合う仕組みをつくる。
- ・高齢者でも働ける場所の充実。

【まちに関するもの】

- ・防災機能を強化し、自然災害に強いまち。
- ・倒木や枯れ木の管理がされている緑のまち。
- ・子どもが遊べる(サッカーやスケボー)場所が充実し、中高生も楽しめるまち。
- ・みんなが利用しやすい施設がある。
- ・夜でも安心して帰れる道。
- ・障害者が自立して生活できるまち。
- ・農家の産直野菜を地元で消費できる地産地消のまち。

【にぎわいに関するもの】

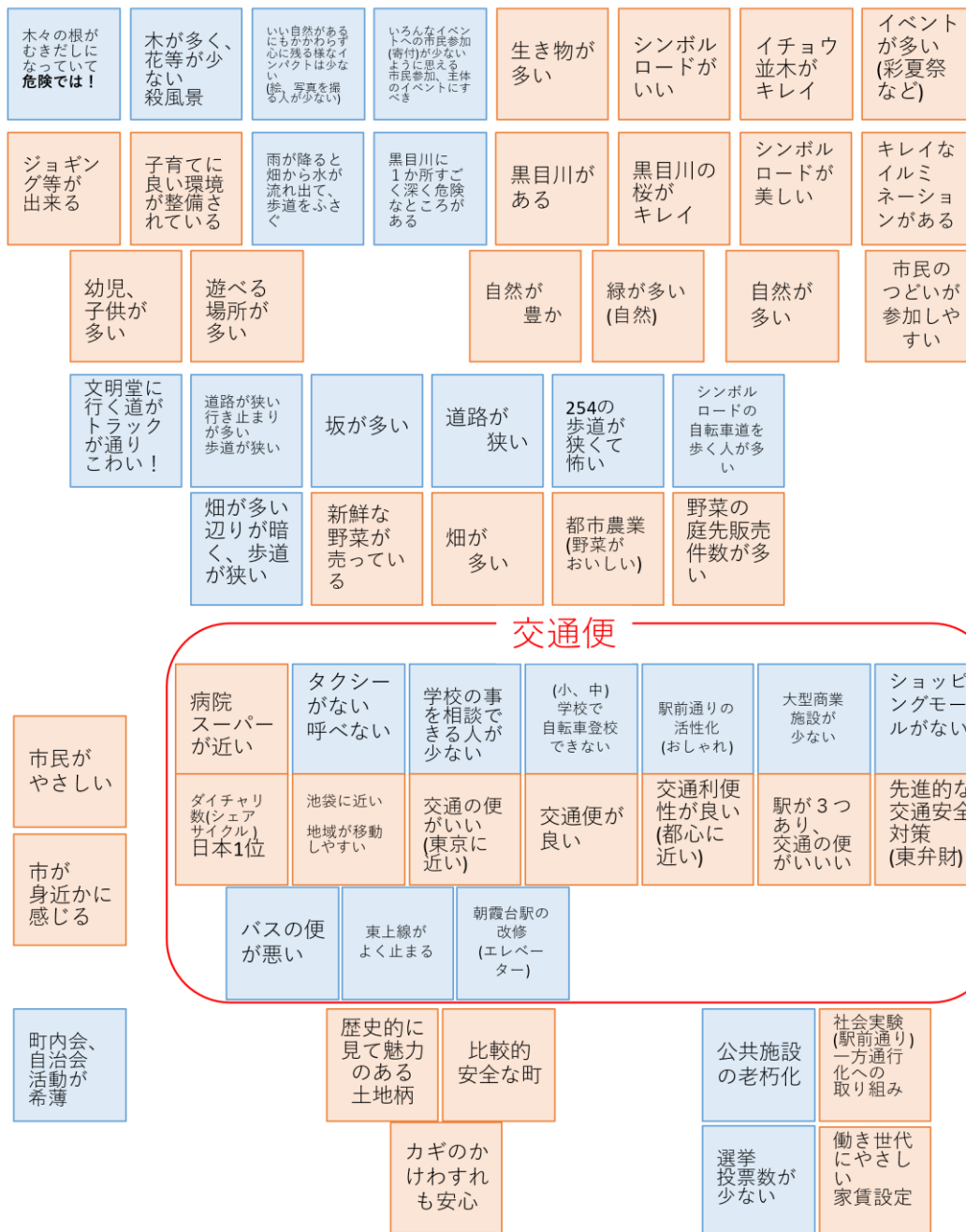
- ・緑、公園、畑などを上手に使える産業ができる。
- ・彩夏祭をより盛り上げる。
- ・個人商店を増やす。朝霞駅東口方面の賑わいを増やす。シンボルロードでイベントの充実。
- ・空き家を有効活用する。

★グループ5

【5-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

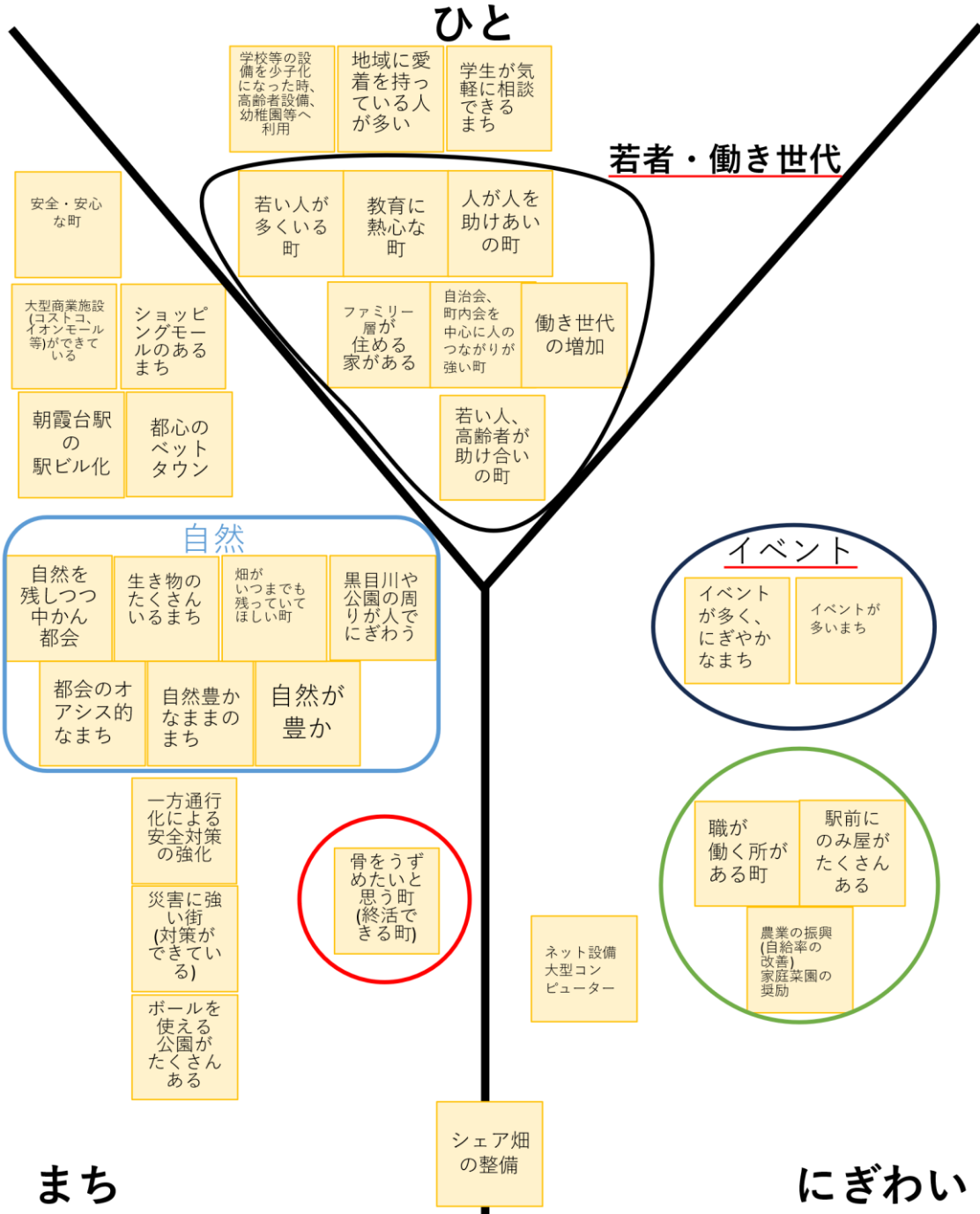
5 グループ



【5-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？

5 グループ



【5-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①公園・自然: 黒目川やイチヨウ並木があり、生き物も多く、自然が豊か。遊べる場所が多い。子育てに良い環境が整備されている。シンボルロードが良い。
- ②アクセス・移動: 交通の便が良い。病院やスーパーが近い。シェアサイクル数日本1位。
- ③農業: 新鮮でおいしい野菜が販売されている。畑が多い。野菜の庭先販売件数が多い。
- ④イベント: 彩夏祭やイルミネーションがある。
- ⑤人・コミュニティ: 市民が優しい。市が身近に感じる。
- ⑥その他: 比較的安全なまち。働き世代に優しい家賃設定。駅前通り一方通行化への取組。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①交通・道路・移動: 道路や歩道が狭い。坂が多い。畑が多く辺りが暗い。電車がよく止まる。バスの便が悪い。タクシーがない。小中学校に自転車登校できない。
- ②公共・民間施設: 公共施設の老朽化。ショッピングモール/大型商業施設がない。
- ③自然: 木々の根がむき出しになっていて危ない。木が多く花が少なく殺風景。自然はあるものの心に残るようなインパクトが少ない。雨が降ると畑から水が流れ出て歩道をふさいでいる。
- ④イベント: イベントへの市民参加が少ない。市民主体のイベントにするべき。
- ⑤その他: 町内会・自治会活動が希薄。選挙の投票数が少ない。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・自治会、町内会を中心に人のつながりが強いまち。若い人、高齢者が助け合い、地域に愛着を持っている人が多いまち。
- ・若い人、働き世代の多いまち。ファミリー層が住める家がある。
- ・教育に熱心。学生が気軽に相談できるまち。

【まちに関するもの】

- ・ボールで遊べる公園がたくさんある。
- ・自然豊かなままで、黒目川や公園の周りで人がにぎわうまち。
- ・災害に強いまち。一方通行化による安全対策の強化。
- ・大型商業施設ができたり、朝霞台駅が駅ビル化したりする。
- ・廃校になった学校等の設備を高齢者設備や幼稚園等へ利用する。
- ・死ぬまで暮らしたいと思えるまち。終活できるまち。

【にぎわいに関するもの】

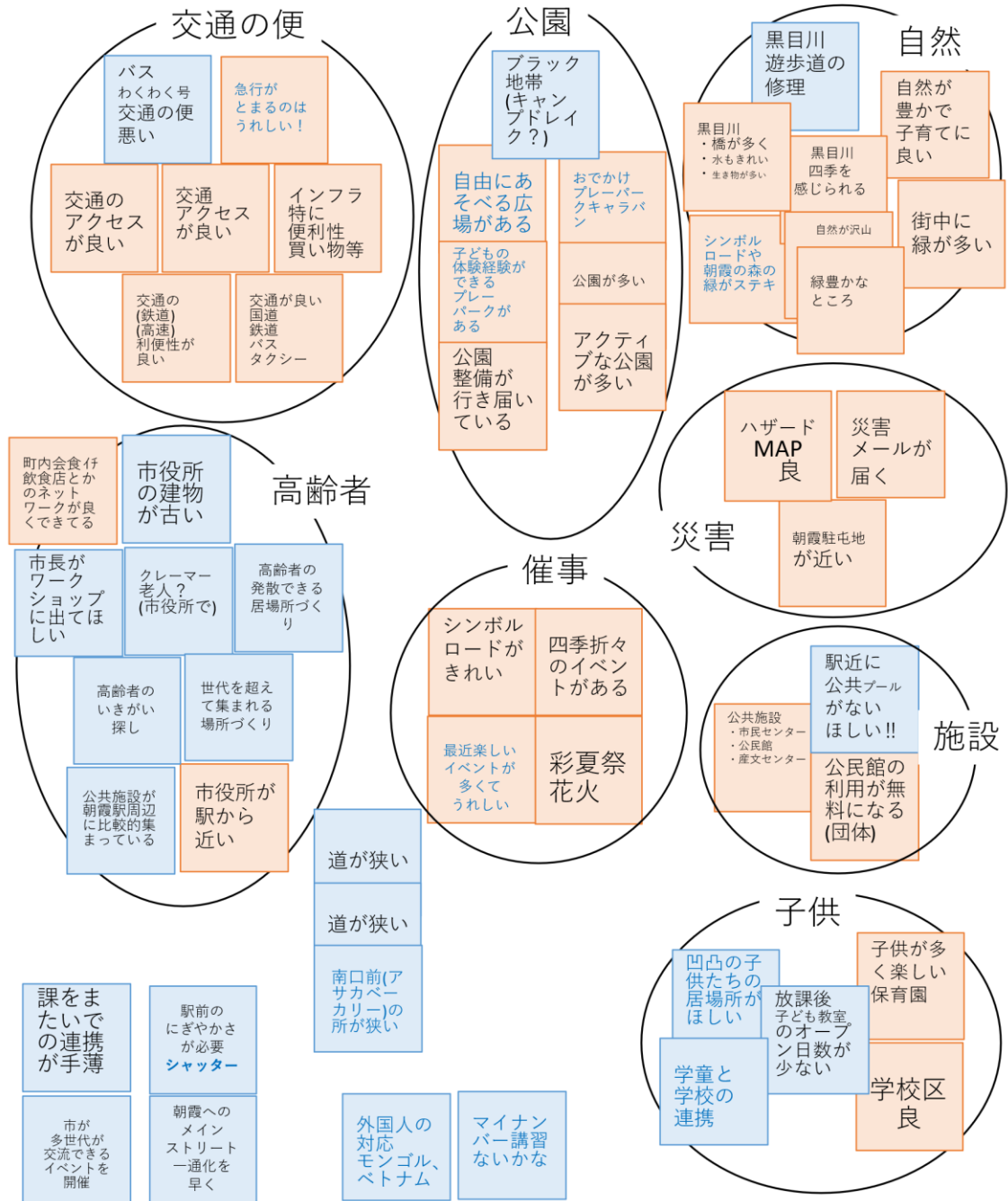
- ・イベントが多く賑やかなまち。駅前に飲み屋がたくさんあるまち。
- ・働く場があるまち。
- ・家庭菜園を奨励するなど、農業の盛んなまち。シェア畑の整備。

★グループ6

【6-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

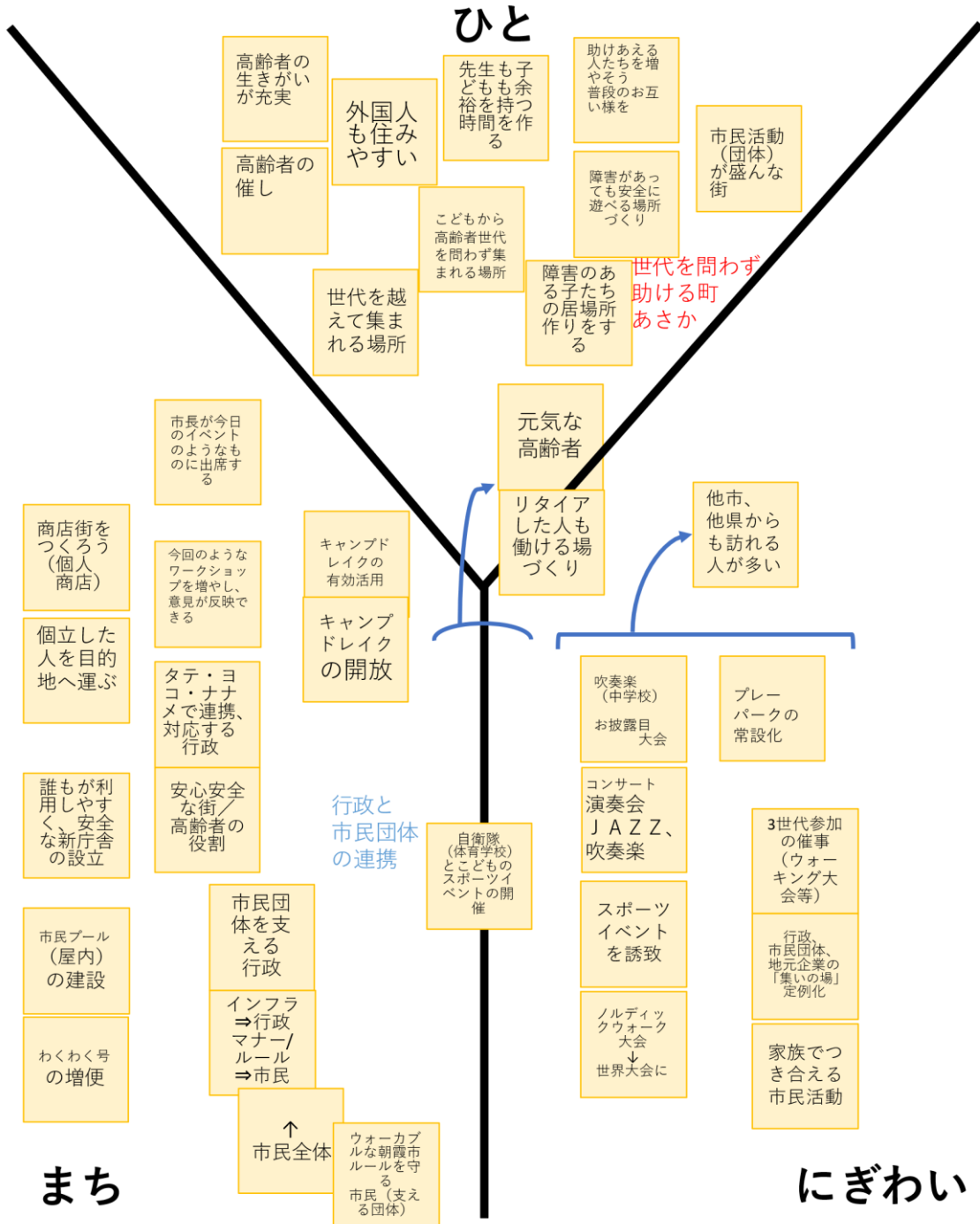
6 グループ



【6-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？

6 グループ



【6-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①公園・自然:自由に遊べる広場がある。子どもが体験できるプレーパークがある。公園が多い。
公園整備が行き届いている。黒目川など自然が豊かで子育てに良い。街中に緑が多い。
- ②交通の便:交通アクセスが良い(国道、鉄道、バス、タクシー)。急行が止まる。
- ③イベント:四季折々のイベントがある。彩夏祭の花火。シンボルロードが綺麗。
- ④災害:ハザードマップが良い。災害メールが届く。朝霞駐屯地が近い。
- ⑤子ども:子どもが多く、楽しい保育園が多い。
- ⑥施設:公民館の団体利用が無料。市役所が駅から近い。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①施設・インフラ:公共施設が朝霞駅周辺に集まっている。市役所の建物の老朽化。駅前が賑わっていない。
- ②交通・道路:わくわく号の交通の便が悪い。道が狭い。特に朝霞駅南口前。黒目川の遊歩道の修理。朝霞へのメインストリート一方通行化が実施できていない。
- ③居場所づくり:高齢者や多世代が交流できるイベント・居場所づくり。高齢者の生き甲斐探し。
- ④子ども:特別な配慮の必要な子ども達の居場所がない。学童と学校の連携不足。放課後子ども教室のオープン日数が少ない。
- ⑤その他:課をまたいでの連携が手薄。外国人の対応。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・世代を超えて集まれる場所がある。障害のある子ども達が安全に遊べる居場所がある。
- ・高齢者への催しものがあるなど、高齢者が生きがいをもって元気に暮らせるまち。
- ・市民活動が盛んで、助け合える人たちを増やす。
- ・外国人も住みやすいまち。

【まちに関するもの】

- ・商店街を作る。安全な新庁舎の設立。屋内市民プールの建設。キャンプドレイクの有効活用。
- ・高齢者がリタイア後も働ける場づくり等、高齢者の役割があるまち。
- ・縦・横・斜めで連携・対応する行政。市民の意見を聞くワークショップ(市長も出席)を増やす。市民団体を支える行政。

【にぎわいに関するもの】

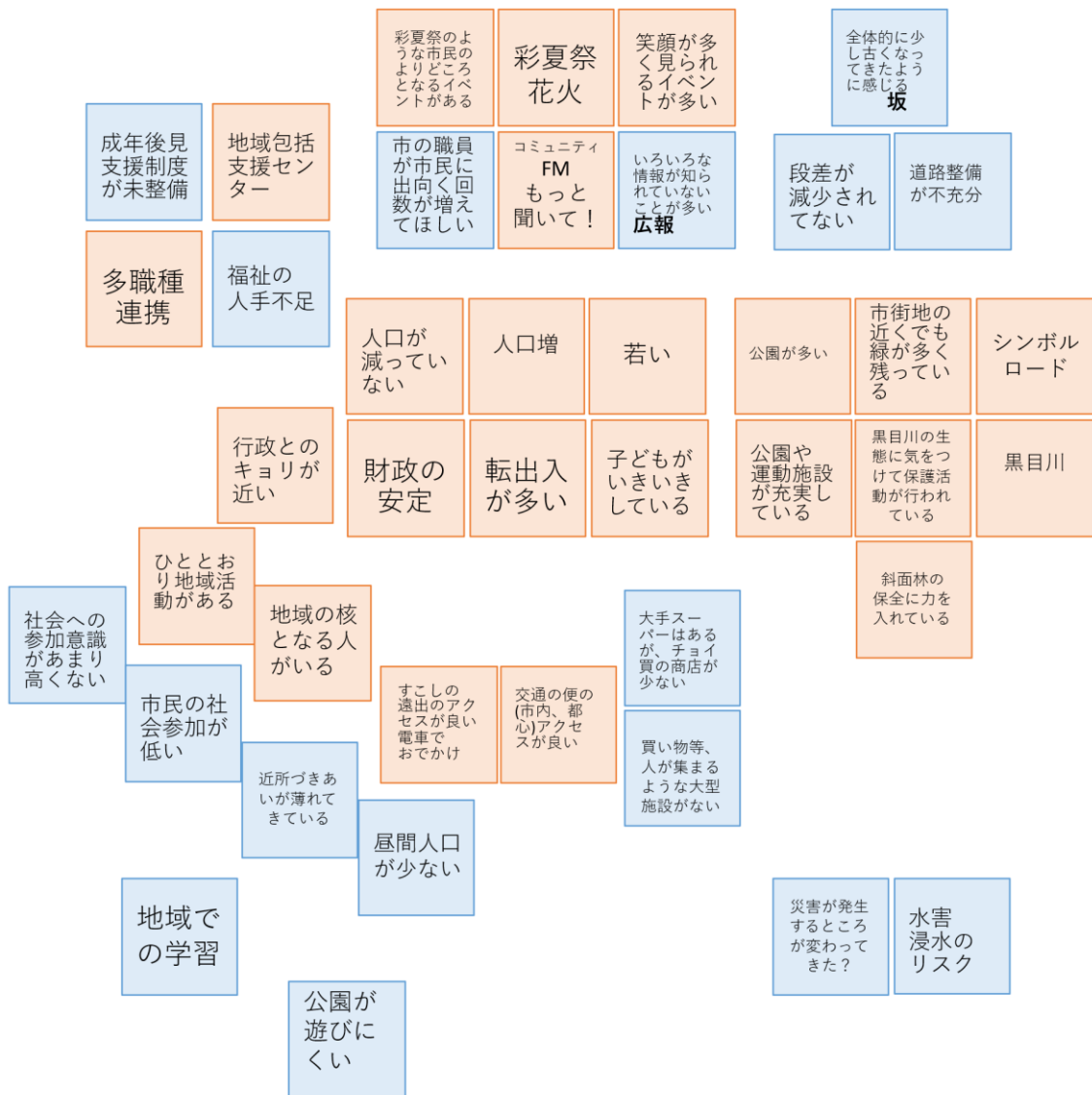
- ・他市、他県からも人が訪れるイベントの開催(吹奏楽お披露目会、コンサート、スポーツイベント、ノルディックウォーク大会、プレーパークの常設化)
- ・3世代参加のイベントの実施。行政、市民団体、地元企業の集いの場の定例化。家族で参加できる市民活動の実施。自衛隊と子どものスポーツイベントの開催。

★グループ7

【7-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

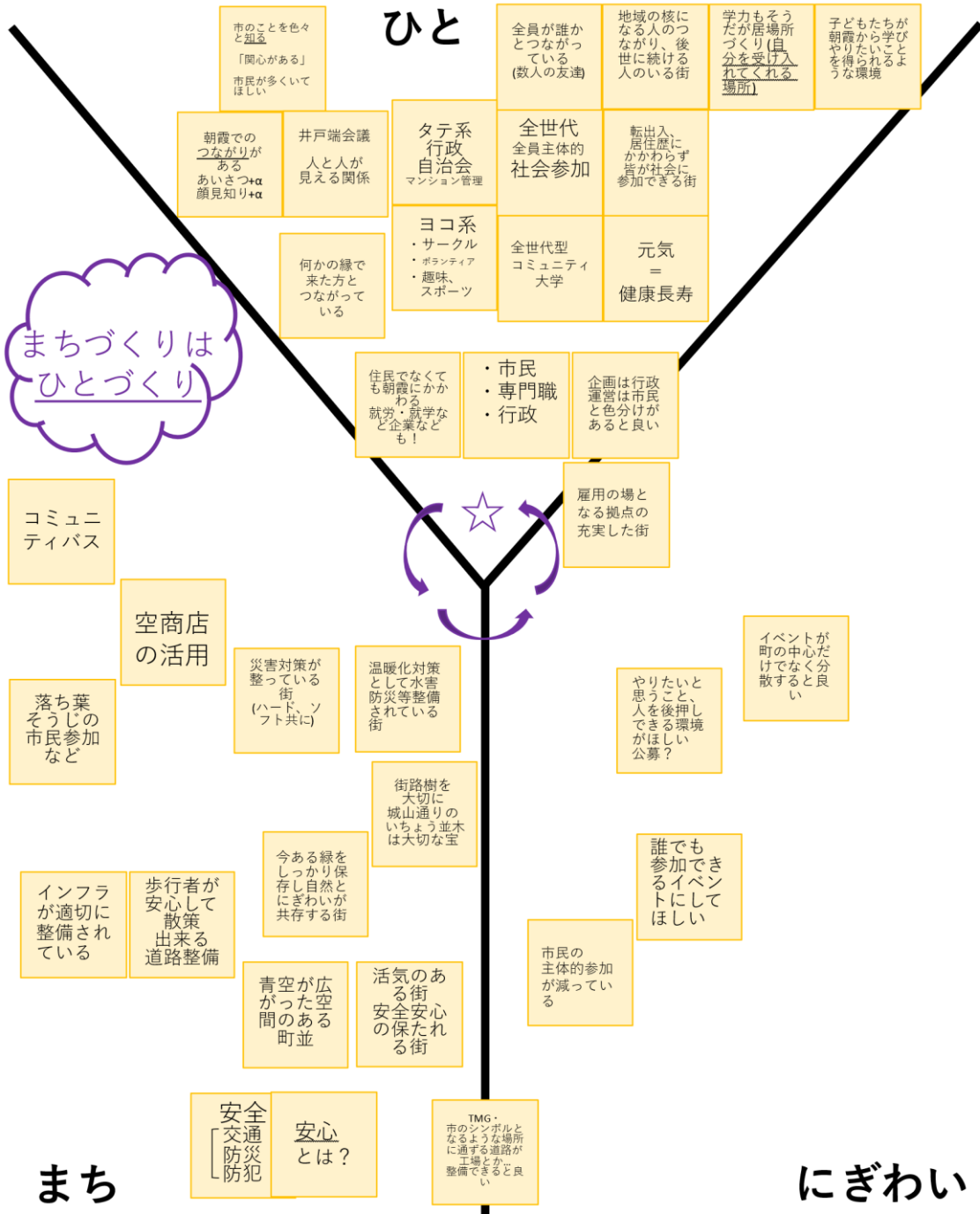
7 グループ



【7-2】未来の朝霞市はどんなまち？

未来の朝霞市はどんなまち？

7グループ



【7-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①公園・自然:公園や運動施設が充実している。市街地でも緑が多く残っている。黒目川があり、生態に気を付けて保護活動が行われている。斜面林の保全に力を入れている。
- ②イベント:彩夏祭のような市民のよりどころとなるイベントがある。花火がある。
- ③人口・市民:人口が増えている。転出入が多い。若い。子どもが生き生きしている。
- ④行政:行政との距離が近い。財政が安定している。多職種連携が取れている。
- ⑤地域:地域活動がある。地域の核となる人がいる。
- ⑥交通の便:交通の便がいい(市内・都心まで)。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①道路:道路整備が不十分(段差が減少されていない。古くなってきてい坂。)
- ②行政:市の職員が市民に出向く回数が少ない、広報が不十分、成年後見支援制度が未整備。
- ③地域:近所付き合いが薄れてきている。市民の社会参加が低い/意識が低い。
- ④公園:公園が遊びにくい。
- ⑤災害:水害・浸水のリスクがある。
- ⑥その他:昼間の人口が少ない。大型施設がない。福祉の人出不足。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・全世代の全員が誰かとつながりがあり、人と人が見える関係にあり、市民による主体的な社会参加の盛んなまち。地域の核になる人のつながりがある。落ち葉掃除の市民参加など。
- ・行政や自治会などのタテ系のつながりと、サークル、ボランティア、趣味、スポーツなどヨコ系のつながりがある。
- ・自分を受け入れてくれる居場所があるまち。
- ・子ども達が朝霞から学びやりたいことが得られるような環境がある。
- ・企画は行政で、運営は市民が行うなど、連携できるまち。
- ・雇用の場となる拠点の充実したまち。

【まちに関するもの】

- ・災害対策が整っており、道路やインフラが適切に整備され、安心安全なまち。
- ・今ある緑・街路樹を保存し、自然とにぎわいが共存するまち。青空が広がった空間のあるまち。
- ・空き商店が活用される。活気のあるまち。
- ・朝霞 TMG や市のシンボルとなるような場所に通ずる道路が整備される。

【にぎわいに関するもの】

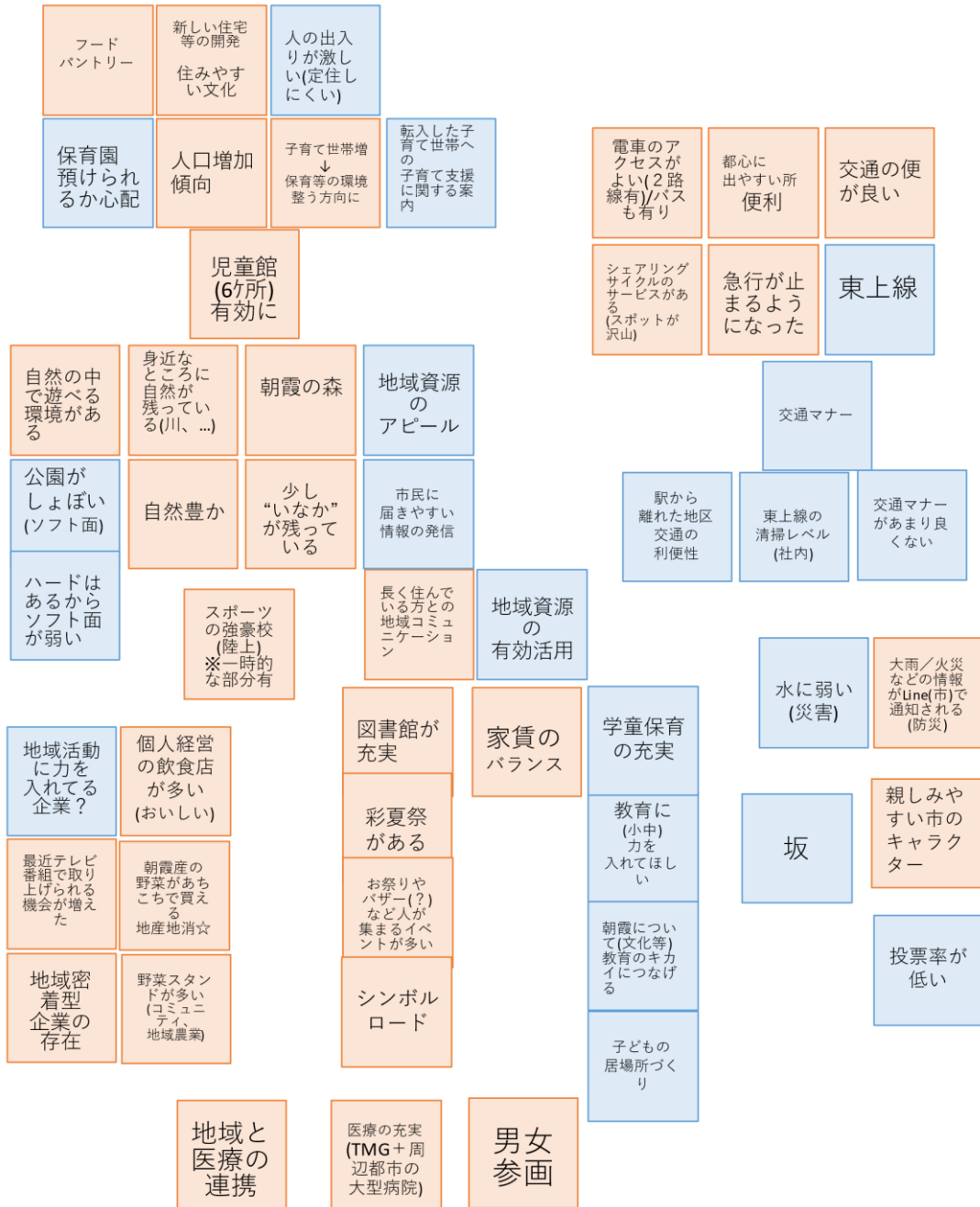
- ・イベントに誰でも参加でき、市の中心外にも分散されて開催される。市民の主体的参加がある。
- ・やりたいと思うこと・人を後押しできる環境。

★グループ9

【9-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

9 グループ



【9-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①交通・移動: 交通の便が良い。急行が止まる。2路線ある。シェアサイクルのサービスがある。
- ②自然: 身近なところに自然が残っている。自然の中で遊べる環境がある。朝霞の森がある。
- ③イベント: 彩夏祭などの祭りやバザーなど人が集まるイベントが多い。シンボルロードがある。
- ④人口・住宅: 人口・子育て世帯が増えている。家賃のバランスが良い。
- ⑤行政・施設: 親しみやすい市キャラクター。防災情報がLINEで通知。図書館や児童館が充実。
- ⑥医療: 医療が充実している。地域と医療の連携が取れている。
- ⑦地域産業: 地域密着型の企業がある。朝霞産の野菜が買える。野菜スタンドが多い。
- ⑧その他: スポーツ強豪校がある。個人経営の飲食店が多い。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①交通・道路: 駅から離れた地区の交通の利便性は良くない。交通マナーが良くない。坂が多い。
- ②保育・教育・子ども: 保育園に預けられるか心配。学童保育が充実していない。小中の教育に力を入れてほしい。朝霞について教育する機会が不足している。子どもの居場所が必要。
- ③情報提供・発信: 市民に届きやすい情報の発信がなされていない。地域資源のアピール不足。転入した子育て世帯への子育て支援に関する案内不足。
- ④公園: ハード面はあるが、ソフト面が弱い。
- ⑤その他: 人の出入りが多く定住しにくい。水害に弱い。投票率が低い。地域資源の有効活用。

(3) 未来の朝霞市

場と価値を提供し、様々な人が入りやすいコミュニティがあり、市に愛着が生まれ、定住を目指す。

【ひとに関するもの】

- ・子ども・働き世代・高齢者のそれぞれにコミュニティ(外から入ってきた人も入りやすい)がある。
- ・子どもの成長・発達段階に応じた居場所がある。
- ・姉妹都市とのさらなる交流がある。

【まちに関するもの】

- ・公共交通の空白地帯を解消し、市内における移動手段が豊富にある。コンパクトなまちづくり。
- ・身近に自然を残しつつ、住環境とのバランスが取れている。自然体験を更に充実させる。
- ・災害への強靭性が高い。
- ・市民に情報が届くようにアピールする。

【にぎわいに関するもの】

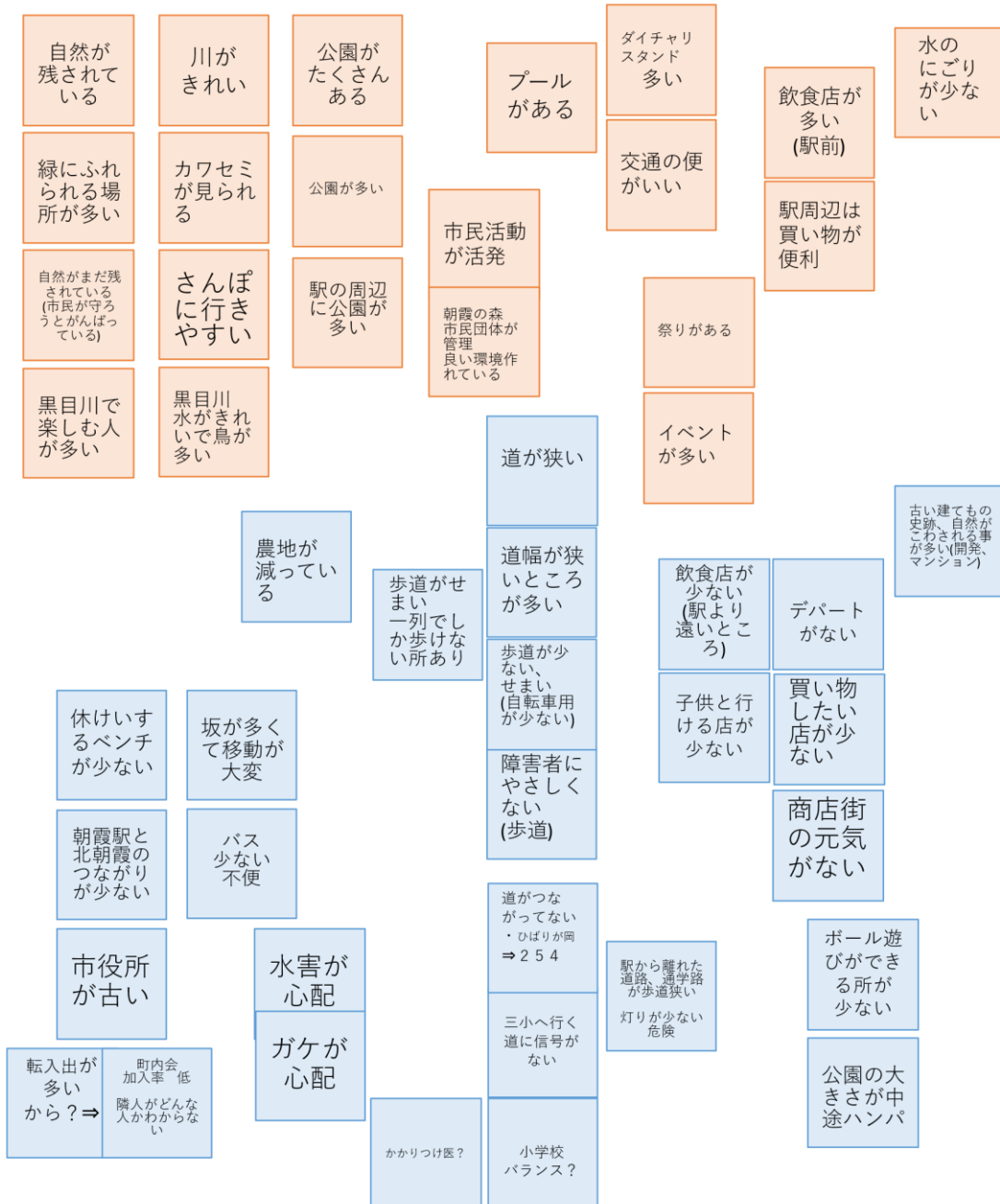
- ・多世代が参加できるスポーツ、健康促進、名物イベントの開催。一緒に何かを作る経験・体験。
- ・市役所や駅周辺のにぎわいの創出。
- ・市民や企業がより市政に参加する。
- ・様々な自営業者が様々な価値を提供する。

★グループ10

【10-1】今の朝霞市のよいと思うところ・改善が必要と思うところ

今の朝霞市のよいと思うところ
改善が必要と思うところ

10グループ



【10-3】話し合いの要点

(1) 今の朝霞市のよいと思うところ

- ①自然・公園:公園が多い。黒目川が綺麗で鳥が多い。自然が残されている。
- ②イベント:お祭り、イベントが多い。
- ③交通・移動:交通の便がいい。ダイチャリスタンドが多い。
- ④駅前の利便性:駅前に飲食店が多い。駅周辺は買い物が便利。
- ⑤その他:プールがある。市民活動が活発。

(2) 今の朝霞市の改善が必要と思うところ

- ①交通・道路:通学路を含め、道・歩道が狭い。道がつながっていない。信号がない。坂が多い。
バスが少なくて不便。道路に明かりが少なく危険。朝霞駅と北朝霞駅のつながりが少ない。
- ②土地:農地が減っている。崖があつて危ない。水害が心配。
- ③インフラ・施設:市役所が古い。古い建物史跡が開発などで壊されることが多い。
- ④店舗:デパートがない。駅より遠いところに飲食店が少ない。子どもといける店が少ない。商店街が元気がない。買い物したい店が少ない。
- ⑤地域:町内会の加入率が低く、隣人がどんな人かわからない。転出入が多い。
- ⑥公園:ボール遊びができる所が少ない。公園の大きさが中途半端。

(3) 未来の朝霞市

【ひとに関するもの】

- ・若者が定住し、まちづくりに参加しやすいまち。
- ・すれ違う人同士の会話が生まれ、人とのつながりがあるまち。
- ・社会的弱者を含め、誰でも安心して暮らせる優しいまち。自分が困っていなくても、共存できる優しさ・視点のある住人がいる。災害の時に助け合える。

【まちに関するもの】

- ・黒目川を中心として、自然を守り、緑が豊富で癒されるまち。
- ・子どもが自由に遊ぶ(ボール、スケボー、花火)ことができるまち。
- ・子ども、高齢者、障害者の視点で、歩きやすいまち。コミュニティバス等で外出しやすいまち。
- ・災害(特に水害や崖崩れ)に強いまち。
- ・かかりつけ病院との連携等、医療体制の充実。
- ・教育や学習が充実しているまち。

【にぎわいに関するもの】

- ・イベントや集まれる場所が多いまち。伝統文化の伝承や、今の自然を残してそこで憩えるまち。
- ・子ども、親子、高齢者の居場所や高齢者と若者の交流の場がある。
- ・他市から遊びに来てもらえるまち。
- ・大きな工場(企業)とつながりをもつ。家の近くに職場がある。商店街の活性化。

2-3. 当日の様子

写真を掲載します。

3. 総括

まず、「朝霞市のよいところ、改善が必要なところ」を話し合ったところ、各グループで共通して見られた、よいところに関する意見として、都心に近く交通の便がよいこと、公園が多いこと、黒目川や朝霞の森などがあること、彩夏祭をはじめとしたイベントが多いことなどの意見が多く挙げられた。

改善が必要なところに関する意見としては、道幅が狭く歩きにくい、坂道の移動が困難、バス交通の見直し、公共施設の老朽化、自由な遊び場の不足、全国的な認知度が低いことなどが挙げられた。

続いて、「朝霞市の未来」について話し合ったところ、《ひと》については、

- ・多様な交流やコミュニティがある
 - ・若者やファミリー層が住みやすい
 - ・子どもや高齢者、外国人など誰もが住みやすい
- などが挙げられた。

また、《まち》については、

- ・歩きやすい道の整備
- ・災害対策
- ・緑を残す
- ・多様な遊び場
- ・自然との共存

などが挙げられた。

さらに、《にぎわい》については、

- ・買い物や食事ができる場の充実
- ・多様なイベントや市民の主体的関わり
- ・市の魅力発信・PR

などが挙げられた。

総じて、交通利便性、自然の豊かさ、イベントに関する評価は高く、それらを未来に受け継ぎながら、今後は、ひとのつながりや交流によって誰もが住みやすくし、まちをより強く、安全で快適なものとするとともに、市内のにぎわいを増し、市内外に発信していくことが重要と考えられる。

4. 資料

資料① 募集チラシ

あさかの未来を話そう
参加者募集!

【会場】
ゆめばれす
(朝霞市民会館)
新館2階
高砂の間

【日時】
令和6年
1月20日(土)
午後1時30分
～午後5時

【募集人数】
100名程度
★お子様も
一緒にどうぞ

【申込期限】
令和5年
12月25日(月)

市民ワークショップ「あさかの未来を話そう」参加申込書

ふりがな			
氏名			
連絡先	() - ※日中、連絡が取れる電話番号の記載をお願いします(携帯電話可)		
託児 ※希望される方は、 利用人数と年齢を ご記入ください。	(利用人数 人、年齢 歳、 歳) ※託児は1歳～就学前のお子様ご利用できます。 ※別途、当日の持ち物等についてご連絡します。	手話通訳 ※希望される方は○ をつけてください。	必要

内 容

令和8年度(2026年度)から始まる「第6次朝霞市総合計画」を作るため、朝霞市をどんなまちにしていきたいかを参加者の皆さんと一緒に考える市民ワークショップを開催します。
数名ずつのグループに分かれ、意見交換をしながら「朝霞市のよいと思うところ」や「未来の朝霞市」などについて考えます。参加費は無料です。

開催日時・会場

日時 令和6年1月20日(土) 午後1時30分～午後5時

会場 ゆめばれす(朝霞市民会館)新館2階 高砂の間
朝霞市本町1丁目26番1号

応募方法

下記のいずれかの方法でご応募ください。

- ①郵送 裏面の参加申込書に記入し、下記問い合わせ先へ郵送してください。
- ②窓口 裏面の参加申込書に記入し、朝霞市役所政策企画課(3階35番)へお持ちください。
- ③FAX 裏面の参加申込書に記入し、下記問い合わせ先へ送信してください。
- ④Web 右の二次元コードまたは市ホームページから、お申込みフォームへアクセスし、お申込みください。



申込締切：令和5年12月25日(月) ※郵送の場合は必着

- 座席に余裕がある場合は当日参加も可能です。
直接会場へお越しください。

※託児・手話通訳を希望する場合は令和5年12月25日(月)までにお申込みください。



問い合わせ先

朝霞市役所 市長公室 政策企画課
〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号
TEL : 048-463-3089(直通)
FAX : 048-467-0770
E-mail : seisaku_kikaku@city.asaka.lg.jp